

第5学年（なずな学年） 学年経営の方針

宮城教育大学附属小学校

教育目標
体も心もたくましく、しかも、しなやかな子供

【目指す資質・能力】
言語力 問題解決力 活用力 表現力 調整力

5年生で目指す子供像と到達のめやす

学
び
合
う
子
供

生命を大切にし、
健康や安全に気を付け、
進んで体を鍛える子供

- 生命の尊さを知り、自他の安全に努めることができる。
- 自分の体力を知り、めあてをもって進んで運動することができる。

友達や家族、自然、ものを大切にし、思いやりの心をもって生活する子供

- 広い心で相手の気持ちや立場を理解し、誰にでも思いやりの気持ちをもって接することができる。
- 時と場をわきまえて行動したり、心のこもった挨拶をしたりすることができる。

課題意識をもって、
進んで学習に取り組む子供

- 多くの情報を収集して、広い視野から疑問点を明らかにしていくことができる。
- 自分に合った学習計画を立て、見通しをもって自主学習をすることができる。

自分の役割を自覚し、
友達と協力して取り組む子供

- 働くことの尊さを知り、友達と協力しながら、人のためになる仕事をすることができる。
- 自分の役割を自覚し、誠意をもってみんなのために行動することができる。

指導の方向

<安全を考え、進んで運動に取り組む態度の育成>

- ◎具体的なめあてをもたせ、自主的に運動に取り組ませる
 - ・体育の学習などを通して、自分の体や生命に対する関心を高めながら、健康と安全を意識した生活を心掛け、実践することができるようにする。
 - ・日常的な運動やなかよし運動会などの行事に向けた取組を通じて、めあてをもたせながら、進んで運動に取り組み体力を向上させることができるようにする。

<優しさの分かる豊かな心の育成>

- ◎互いの優しさを認め合えるような場と雰囲気を作る
 - ・他者の良さを理解して認め合いながら関わっていくことで、互いの考えを尊重し合い、思いやりの心をもつことができるようにする。
 - ・学校生活を支えてくれている人々の働きについて考えさせ、場に応じた行動や挨拶を励行していく。

<進んで学習しようとする態度の育成>

- ◎課題の解決に向け、見通しをもって学習に取り組ませる
 - ・学習の仕方を指導し、自主的・継続的に学習に取り組むことができるようにする。
 - ・必要に応じて個別指導の場を設け、一人一人に学習内容の定着を図る。
 - ・友達と協力して学習を進めさせ、互いの考えを生かし合いながら、問題を解決することができるようにする。

<友達と協力し、責任をもって行動する態度の育成>

- ◎自分の責任を果たし、進んで働く喜びを味わわせる
 - ・委員会活動やたてわり活動を通して、一人一人に役割をもたせながら、学校や学級の一員としての自覚を高めることができるようにする。
 - ・学校行事や学年・学級の取組を通して、協力することの大切さや、最後まで責任をもって活動することの大切さに気付かせていく。

第5学年 学級懇談会資料

一人一人の思いを大切にするとともに、5年生として「学び合う」ことを意識させながら成長し合える学級を目指します。合言葉は、『「自力行(自らの思いをもって動き出す)」を積み重ねよう』です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

【健康】生命を大切に、健康や安全に気を付け、
進んで体を鍛える子供

- 登下校を振り返らせたり生活環境を見つめさせたりすることで、防犯や防災に対する意識を高めながら安全に過ごすことができるようにする。
(日常的な声掛け、避難訓練、いずみタイムの学習)
- 朝の遊びの時間や体育の学習を通して体を動かすことの楽しさや気持ちよさを感じさせることで、運動習慣の定着化を図っていく。
(外遊びや運動の励行)
- めあてをもたせて体育の学習や体育的行事に取り組ませ、技能と体力の向上を図るとともに、運動の面白さを味わわせていく。
(体育の学習、なかよし運動会に向けた取組)



【生活】友達や家族、自然、ものを大切に、
思いやりの心をもって生活する子供

- 自分の考えや意見を表現することの大切さとともに、友達の考えや意見を受け入れることの大切さに気付かせながら、思いや考えを自由に言い合える温かい学級づくりに努めていく。(話し合い活動、朝の会や帰りの会)
- 明るい挨拶をしたり、ものを丁寧に扱ったりすることの大切さを理解させながら、下学年の模範となるような生活習慣を心掛け、実践していきけるよう励ましていく。(道徳の時間、生活の3つのめあて)
- 学年・学級で友達と関わったり他学年と交流したりする活動の中で、相手の思いや願いを受け入れながら、自分の「〇〇したい」を実行していきけるように働き掛けていく。(学級活動、たてわり活動)

学び合う子供

【学習】課題意識をもって、
進んで学習に取り組む子供

- 学習習慣を更に定着させていくとともに、「なぜだろう」「やってみよう」という思いを大切にしながら見通しをもって学習課題の解決に取り組めるようにする。(日常的な声掛け、授業の工夫)
- ペアやグループなどで考えを伝え合う場やノート作りを称賛し合う場を積極的に設定していくことで、友達と学び合う中で理解を深め、表現力の向上を促していく。(授業の工夫、学習環境の整備)
- 漢字練習や計算問題などに継続的に取り組む機会を設けることで、基礎的・基本的な学習内容の定着や習熟を図っていく。
(ドリルの活用、自主学習の充実)



【活動】自分の役割を自覚し、友達と協力して取り組む子供

- よりよい学校づくりのために他学年と協力して活動に取り組む機会を活用することで、高学年としての自覚を強めたり責任感を高めたりすることができるようにする。(委員会活動・たてわり活動)
- 学級での係活動や当番活動を通して、学級名に込めた願いを大切にしながら自分の役割を全うし、自らの手で学級をよくしていこうとする態度が身に付くようにする。(係活動、当番活動)
- 互いの考えを交流しながら試行錯誤する場を保障することで、一つの目標に向かって仲間と取り組んでいくことの大切さや活動後の達成感・満足感を味わわせていきけるようにする。(様々な行事での活動)

